

四国物産株式会社

香川県観音寺市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

人と暮らしのより豊かな未来を創る快適生活提案企業を目指し 3つの事業を通して地域社会に貢献する

- 中長期経営計画の策定や先行管理型レビューシステムの導入によって付加価値を上げる経営を推進している
- 食品加工工場にジャストインタイム生産方式を導入し工程の改善等により生産性向上を実現している
- 環境変化に左右される事業であるが、3つの異なる事業を行いリスクを分散させ業績を維持している

企業基本情報

所在地	香川県観音寺市昭和町二丁目4番5号
電話/FAX	0875-25-2144/0875-24-2877
URL	http://www.shikokubussan.co.jp/
代表者	代表取締役社長 守谷 通
設立	1918年
資本金	5,600万円
従業員数	177人



会社概要

同社は、大正時代に肥料・砂糖の製造販売を業として創立以来、ハム・ソーセージ、加工食品の製造販売などの食品関連事業、石油製品並びにLPガスの販売などのエネルギー関連事業、肥料、農業用資材の販売などの環境関連事業の地域に密着した3つの事業を行ってきた。時代が進むに従い、各部門の好不調はあったものの、事業の多角化が功を奏し、安定した経営を続け地域において存在感のある企業となっている。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 中期経営計画等の策定と実行システムの構築による付加価値向上

社長、幹部を中心に事業部門の垣根をこえ、エネルギーコストなど同社でコントロールできない外的要因などのリスクヘッジを含めた総合的な中期経営計画を策定。その後、収益の鍵を握る食品部門の営業戦略を明確化し収益確保のための具体的なアクションプランを作成した。

利益率の高い売上を確保しPDCAサイクルを円滑に回すために先行管理型レビューシステムを構築し計画達成に努力している。



会議風景

▶▶▶ ジャストインタイム生産方式の構築と現場改善による生産性向上

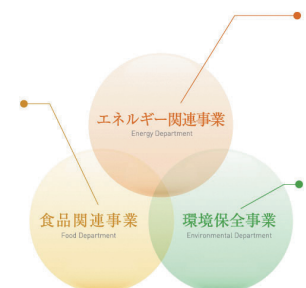
全社売上の約3割以上を占める食品加工工場にジャストインタイム生産方式を導入。5Sの徹底、無駄取りなどの作業改善や設備改善を推進、工程別の週間生産計画表等を作成して運用すると共に平準化生産の仕組みを構築した。一人当たり付加価値生産性が前年に比べ2割以上上がり大幅に生産性が向上。工場長を中心に工場働く社員の意識も大きく変わり、赤字であった食品加工工場の黒字化に成功した。



工場内風景

▶▶▶ 食品、エネルギー、環境分野の事業を展開し安定した業績を維持

同社は、食品関連事業、エネルギー関連事業、環境関連事業の三位一体型経営を実践。食品関連事業では品質向上・設備改善・技術開発に尽力。オリジナルブランド食品の製造と販売を通してニーズに応えている。エネルギー関連事業では顧客を満足させるサポートとサービスを実施、環境関連事業では生活と住環境をトータルサポートしている。環境変化に強い安定した経営体制を確立している。各部門の好不調はあったものの、事業の多角化が功を奏し、安定した経営を続け地域において存在感のある企業となっている。



三位一体の経営